

再整備後の

岩手県

岩手県庁舎の未来像を考える！ 大学生ワークショップ



※ワークショップのイメージ画像は生成AIにより作成

- 未来の岩手県庁舎と一緒に考えてみませんか。岩手県では、**新しい県庁舎づくり**に向け、**大学生ワークショップ**を開催します。
- テーマは「**協働・共創**」。これからの時代に必要な**人とのつながり**や、**新しい価値を生み出す場**について自由に意見交換します。
- 次代を担う**大学生の皆さんのアイデア**をぜひお聞かせください。

日時	令和8年8月21日(金) 13:30~16:30
モデレーター	(株)日本総合研究所 地域・共創デザイングループ 高橋 壮氏 ほか
会場	岩手県庁 12階特別会議室 (盛岡市内丸10番1号)
定員対象	25名程度 申込先着順 大学生(県内在住又は将来岩手県内での就職を考えている大学生)
申込方法	申込期限 8月7日(金)まで 岩手県 電子申請・届出サービスから申込みいただけます。 https://apply.e-tumo.jp/pref-iwate-u/offer/offerList initDisplayTop



【問合せ先】 岩手県総務部 管財課 県庁舎再整備担当

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号 電話 019-629-5036 担当:二本松

岩手県庁舎再整備基本構想（令和8年3月策定）

岩手県では、防災拠点として必要な耐震性能の不足や老朽化に課題のある県庁舎について、整備の**基本理念**や**基本方針**、**庁舎規模**、**整備の方向性**等を示す、**県庁舎再整備基本構想**を令和8年3月に策定しました。

県庁舎の課題

- ①**耐震性能**：防災拠点としての耐震基準を満たしておらず、**耐震改修が必要です**。
- ②**防災**：対浸水性能、**ライフライン**、**災害応急活動の場**の確保といった課題対応が必要です。
- ③**老朽化**：昭和40年竣工の県庁舎は、建築・設備の両面において**老朽化が顕著**となっています。
- ④**執務環境**：多様化する行政ニーズに対応するための**執務室・打合せスペース**等が不足しています。

	知事局棟	議会棟	渡り廊下棟
階数	地下1階、地上12階、塔屋3階建	地上2階一部3階建	地上3階建
延べ面積	31,027.7㎡	5,478.8㎡	1,133.3㎡
外観			

再整備の基本理念

県庁舎に求められる中長期的な視点を踏まえ、再整備では**4つの基本理念**を掲げています。

防災

平時から地域の防災力向上を牽引し、あらゆる災害に迅速かつ的確に対応できる安全・安心な庁舎

環境

未来の環境変化を見据え、脱炭素や環境共生を推進する長寿命な庁舎

協働

多様な主体が次世代を共創する、県民に親しまれ、愛される庁舎

働き方

職員が働きがいを実感しながら、その能力と意欲を十分に発揮し、県民サービス向上に資する庁舎

整備パターン

防災性・安全性、機能性、工期・コスト、財政負担の平準化の**4つの観点から評価**を行った結果、**議会棟を解体し、災害対策機能等を備えた新庁舎を整備し、知事局棟は長寿命化改修する「一部建替」**を採用します。

議会棟：解体・新庁舎を整備
(災害対策機能、行政機能の一部も整備)



知事局棟：長寿命化改修
(耐震改修も併せて実施)

【一部建替の評価】

防災性・安全性	○：新庁舎への災害対策本部の整備が可能
機能性	○：共創空間や柔軟な執務室配置が可能
工期・コスト	△：LCCでは改修のみ実施のコストに近接
財政負担の平準化	○：建物・設備の更新時期が分散

事業スケジュール

2026 (R8)	2027～ (3年程度)		2030年代～ (4年程度)		2030年代～ (6年程度)
基本計画	基本設計	実施設計	議会棟解体	新庁舎建設	知事局棟改修